

令和6年度 第3回 立川市自立支援協議会 会議概要

会議名称	第3回 立川市自立支援協議会
開催日時	令和7年2月12日(水) 16時30分～18時30分
開催場所	立川市役所 302会議室
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害福祉課長挨拶 2. 各専門部会からの報告〔資料1-1～4〕 3. 全体会での協議検討内容 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画P D C Aサイクル評価・改善管理シートについて〔資料2〕 (2) 権利擁護専門部会からの事例検討について〔資料3〕 4. 全体会での報告内容等 <ol style="list-style-type: none"> (1) 障害者施策推進委員会について〔資料4〕 (2) 第7次障害者計画について (3) 令和7年度自立支援協議会スケジュール(案)について〔資料5〕 5. その他連絡事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自立支援協議会委員の改選について
出席者	<p>[委員] 吉川委員、長谷川委員、須崎委員、鈴木委員、峰岸委員、遠藤委員、岩元委員、向山委員、本間委員、木村委員、高橋委員、横山委員、橋本委員、榎本委員、川崎委員、鉢嶺委員、荻野委員、小林委員、横平委員、水野委員、大谷委員、澤内委員、泉口委員 (敬称略、順不同)</p> <p>[事務局] 白井障害福祉課長、関根障害福祉第一係長、井上障害福祉第二係長、片川障害福祉第三係長、安井障害福祉推進係長、向山主事</p>
欠席委員	石倉委員、菊池委員、遠藤障害福祉第四係長
会議資料	<p>資料1-1 相談支援専門部会からの報告書</p> <p>資料1-2 就労専門部会からの報告書</p> <p>資料1-3 権利擁護専門部会からの報告書</p> <p>資料1-4 児童専門部会からの報告書</p> <p>資料2 立川市第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画P D C Aサイクル評価・改善管理シートについて</p> <p>資料3 権利擁護専門部会からの事例検討資料</p> <p>資料4 令和6年度 第3回 立川市障害者施策推進委員会 会議概要</p> <p>資料5 令和7年度自立支援協議会スケジュール</p>

1. 開会、障害福祉課長挨拶

2. 全体会での報告内容等

(1) 各専門部会からの報告について〔資料1-1～4〕

[各部会からの報告]

<相談支援>

- ・資料を用い、前回部会の決定事項と進捗状況に関する報告、今回部会での議論内容、今後の予定等を報告。

[質疑・意見等] 特になし。

[決定事項] 報告のみ、異議なし。

<就労>

- ・資料を用い、前回部会の決定事項と進捗状況に関する報告、今回部会での議論内容、今後の予定等を報告。

[質疑・意見等]

- ・江戸川区相談支援連合会において、高齢の親を軽度の障害者が介護する老障介護ケースが紹介されていた。サービス利用が浸透していない親世代に対する介入方法等について検討されていたため、参考までに紹介する。

[決定事項] 報告のみ、異議なし。

<権利擁護>

- ・資料を用い、前回部会の決定事項と進捗状況に関する報告、今回部会での議論内容、今後の予定等を報告。

[質疑・意見等]

- ・グループホーム連絡会について、初回開催に参加した市内事業所の全体における割合はどのくらいか。→6～7割程度。
- ・グループホーム連絡会に参加したのは市内事業所のみか。他市の参加も検討するか。→今回は市内のみである。他市事業所については今後検討する。

[決定事項] 報告のみ、異議なし。

<児童部会>

- ・資料を用い、前回部会の決定事項と進捗状況に関する報告、今回部会での議論内容、今後の予定等を報告。

[質疑・意見等] 特になし。

[決定事項] 報告のみ、異議なし。

3. 全体会での協議検討内容

(1) 第6期福祉計画・第2期障害児福祉計画PDCAサイクル評価・改善管理シートについて 〔資料2〕

[事務局説明]

- ・配布したPDCAサイクル評価・改善管理シートについて、自立支援協議会意見の確定版が完成した。ご協力いただきありがとうございました。

[質疑・意見等] 特になし。

[決定事項] 報告のみ、異議なし。

(2) 権利擁護専門部会からの事例検討について〔資料3〕

[事務局説明]

- ・グループホーム（知的・身体障害）のネットワーク作りについて検討する。精神障害者を対象としたグループホームでは以前より連絡会がある中で、知的障害・身体障害を対象としたグループホームでは、これまでも懇談会等を開催する試みがあったが多忙等を理由に継続されていない。意見交換や情報交換を有機的に行うことのできるモデル事業に取り組むため、意見を募りたい。

[質疑・意見等]

- ・参加者について、どのような立場の人を想定しているか。
→管理者、サビ管、利用者、支援員、行政職員、民生委員等。

- ・放課後等デイサービス事業所連絡会では、年3回の開催において、都度参加者を指定している。管理者の会、支援員研修の会、全職員対象の勉強会などメリットを前面に打ち出すよう意識している。
 - ・連絡会等で得た情報を、実際に日々の支援に従事する職員に伝える必要がある。
 - ・オンライン参加等の選択肢もあるとよい。
 - ・利用者やその保護者の参加機会もあるとよい。事業者とは違った観点での意見交換が可能となるのではないかと。→来年から義務付けられる地域連携推進会議で担うことができるのでは。
 - ・連絡会への参加によって他事業所の空き情報や困りごとを共有したい。資料にまとめられたものがあるとよい。参加が難しければ事務局が定期的に聞き取り、取りまとめ共有するという始め方もあるのでは。
 - ・知的障害と精神障害等、重複障害の方のグループホームの選択が難しい場合がある。グループホーム同士に繋がりがあれば、利用者の課題について全体で検討できるのではないかと。
 - ・グループホームでの支援において、連携している訪問看護等多職種の参加も検討していきたい。
 - ・福祉現場に介入する訪問看護事業所として、医療的な考え方も啓発していきたい。
 - ・困りごとや他事業所における工夫の共有ができれば良いが、事業所内で抱え込む傾向がある。課題を共有できる雰囲気があると良い。
 - ・グループホーム職員は一日を通して支援を行っているため、参加を募るにあたっては時期等を図る難しさがある。東京都社会福祉協議会でも類似の連絡会を実施しているため、方法等について参考にするとよいのでは。
 - ・障害種別により異なる課題もあると思われるため、同じ障害種別を対象としたグループホームで共通課題を抽出した後に、全体で共有してはどうか。
 - ・グループホーム制度を健全に運営するためのネットワークを社会的に整備する必要があるのでは。
 - ・連絡会への参加にこだわらず、有益な情報を提供する仕組みがあれば良いのでは。
 - ・防災訓練等の地域イベントに障害者が参加できていない実態がある。例えば、同じ中学校区内のグループホームで地域の防災訓練に参加を試みる等して、その共通課題に対し一緒に取り組むことができれば、事業所間の連携につながるのではないかと。また、その機会を用い、短時間でも情報交換の場を設けることができれば、複合的なメリットが得られるのでは。
 - ・人手不足への対策は、情報共有や書類作成等の小さなところから効率化を図る以外にない。また、支援する人、される人という構造ではなく、障害者もできることについて最大限担うことができるような仕組みが必要。
 - ・情報共有のための連絡手段としてのネットワークが整備されると良い。
 - ・同事業者として仲間意識が醸成されるような集まりの場であると良い。
- [決定事項] 報告のみ、異議なし。

4. 全体会での報告内容等

(1) 障害者施策推進委員会について [資料4]

[事務局説明]

- ・令和6年度第3回障害者施策推進委員会が令和6年10月24日に開催された。配布した会議の概要は後程ご確認ください。

[質疑・意見等] 特になし。

[決定事項] 報告のみ、異議なし。

(2) 第7次障害者計画について

[事務局説明]

- ・資料を用い、事務局から内容の説明を行う。

[質疑・意見等] 特になし。

[決定事項] 報告のみ、異議なし

(3) 令和7年度自立支援協議会スケジュール(案)について〔資料5〕

[事務局説明]

- ・来年度は運営会議と全体会ともに3回ずつを予定している。委員の皆様には、あらかじめスケジュールの調整をお願いしたい。

[質疑・意見等] 特になし。

[決定事項] 報告のみ、異議なし

5. その他連絡事項

(1) 自立支援協議会委員の改選について

[事務局説明]

- ・資料を用い、事務局から内容の説明を行う。

[質疑・意見等] 特になし。

[決定事項] 報告のみ、異議なし。

閉会